

前理事である「阿部 幸泰 氏」のHP記事（雑学バックナンバー）を紹介します。

阿部 幸泰 氏は、障害児（者）関係だけではなく、教育や社会などの分野の記事も書かれていました。

HP記事から抜粋したものを記載しますので、是非、ご覧ください。

記事を読んでの感想などがありましたら、各事業所の職員へお伝えください。

出会いを大切にしていけることで、人生は豊かに

阿部幸泰(2007年11月25日 記)

ある訪問看護ステーション・スタッフのみなさんと、障害児を育てている親御さんの気持ちについて、懇談する機会を得た。

話題提供者として自分を紹介して下さったのは、十年近く前に在宅重症児の家庭訪問を共にしていた保健師だった。

当時の訪問先のお母親さんとは、今もメール等で交流させてもらっているが、偶然にもこの訪問看護ステーションは、この家族を担当していた。

後日、保健師から次のようなメール（抜粋）をいただいた。

【 本当にありがとうございました。

一緒に参加させていただき、本当に良かったです。

ステーションの皆さんにとっては、障害児の支援は高齢者等と同じであること（寄り添うこと）がよく理解できたと思いましたが、家族支援（特に母）は障害児のためであること、専門職は検証していくことが重要、コミュニケーションについて等々、基本になることを改めて確認することができたのではないかと思います。

阿部さんたちと在宅訪問をさせていただき、その時は夢中だったように思いますが、果たして対象者や御家族にとってはどうだったのだろう、と当時のことを思い出しながら聴いていました。

相手に寄り添うことが基本であることを改めて考えました。

この研修会も、不思議な縁で開催できたなあと思います。

○子ちゃんのところに訪問している看護師さん方であるのも、凄い繋がりだなあと思いました。

簡潔に説明できないところもありますが、目から鱗のような思いで帰ってきました。

出会いを大切にしていけることで、人生は豊かになるのですね。 】【

早速、次のように返信（抜粋）した。

【 本当に今日のような機会を照会していただき、ありがとうございました。

重い障害があっても純粋・無垢な子どもたちだからこそ接する我々も素直になれ、今回のような心優しい方々との出合いの機会をたくさんあたえてくれる、凄い存在だとおもっています。

偶然の出会いであっても互いに心の想いを伝え合ってこそ、人の繋がりが生まれ人生を豊かにしてくれるのでしょうね。 】【

また、お母さんへ次のようにメールで伝言をお願いした。

【 本当に○子ちゃんのお陰で、今回のような機会をいただいたことになりました。

○子ちゃんに、「ありがとう」とお伝えくださいね。 】【

＊ ＊ N P O 会 員 募 集 ＊ ＊

つばめっこの活動を円滑に運営するため、会員を募っています。

正会員：5,000円（一口） 賛助会員：2,000円（一口）

【入金先】

口座番号：七十七銀行高砂支店 普通 9103279

名義人：トクヒ つばめっこ 理事 桑原 則子

【お問い合わせ】

〒981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字日野123-9

TEL：022-372-0031 FAX：022-739-7236

つばめっこめ～る

平成29年度 No.2

平成29年11月発行

発行責任者：桑原則子

編集責任者：熊谷聖司



特定非営利活動法人つばめっこ

〒981-3131

仙台市泉区七北田字日野123-9

TEL:022-372-0031

FAX:022-739-7236

http://tsubamekko-1.uh-oh.jp/

平成15年度につばめっこの活動が開始されたことを、ご存知の方は多いと思います。そこから14年の月日が経ち、その間、法人格を取得し、現在は障害者総合支援法、児童福祉法に基づき、放課後等デイサービス事業所を4ヶ所、短期入所事業所を1ヶ所、相談支援事業所を1ヶ所となりました。また、つばめっこを巣立った人には、年2回と限られていますが、つばめっこ卒業生生活動（卒業生&大人のすわろ一会）をしています。任意団体から始まったつばめっこがここまで成長できたのは、つばめっこに暖かい笑顔で元気をくれている子ども達と様々なことに協力をしてくださっている保護者の皆さま、そしてつばめっこの職員の“子ども達と楽しく遊びたい！”という気持ちがあったからと感じています。

近年、様々な社会情勢がある中、子ども達の放課後の過ごし方や、学校卒業後の過ごし方について考えさせられることがあります。つばめっことして「今、何ができるか」を模索しながら、活動を通して考えていくとともに、つばめっこ活動を開始した当初から大切にしていたこと、「子ども達と楽しいことをしたい」を忘れずに、活動実践を積み重ねていければと思います。楽しい経験がその人の実生活に結びつくように。

副理事長 菊田 繁



この度、理事会でのご指名とご承認を受けまして、新しくつばめっこの理事に就任いたしました仙台青葉学院短期大学こども学科助教の田中公一と申します。

なにぶんにも、このような大任を仰せつかったのは初めてですので、改めてその責任の重さを感じています。私自身、10年前よりつばめっこのボランティアスタッフとして関わらせていただき、障害児支援の知識の礎を築いてまいりました。その経験への奉公という意味においても、責務を全うする所存です。

思い返してみれば、10年前と比べると、法制度やサービスの部分など障がい児支援を取り巻く環境は大きく変化してきました。組織体としてそのような状況に的確に順応していくことは簡単なことではありませんが、つばめっこは「子ども達にとっての第三の居場所」という当初からの目標を決して忘れずに貫き、その規模を拡大し、多くの子ども達や保護者の支えになってきました。私もそのような「変わらないこと」と「変えなければならないこと」の両面を大切に、つばめっこの発展と子ども達の支援の手伝いができればと思っております。また、私は現在、学生を育てる教育機関に務めております。その環境を活かし、ボランティア養成及び派遣、またスタッフの育成や啓発活動などに取り組んでいきたいと考えています。

まだまだ経験不足が故、どこまでできるかという不安はございますが、ぜひ保護者のみなさまのお知恵を拝借し、ご協力を仰ぎながら一歩ずつ活動してまいりたいと考えております。ご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事 田中 公一

息子と母と 15分

<p>※放課後等デイサービス※</p>	
<p>『泉中央つばめっこ』 住所:981-3133 仙台市泉区泉中央 2丁目 19-10 TEL/FAX:022-371-0760</p>	<p>『七北田つばめっこ』 住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野 123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>
<p>平成 29 年 8 月 21 日 (月)、地下鉄と仙石線を乗り継いで松島遊覧船観光へ行ってきました。 8 月 21 日未明まで、強雨と弱雨が絶え間なく降り注ぎ、今年も中止になるかと思われていましたが……。 みんなの思いが天へ届いたのか、朝から降り続いていた小雨が、松島海岸駅に到着すると止んでいました。(あいにくの曇り空でしたが……) 子ども達は、まるで遊覧船のクルーのように、揺れるデッキに恐れることなく立ち、モノクロ色の松島の景色を、心ゆくまで楽しんでいました。</p> 	<p>夏休み活動最終日は、日本貨物鉄道株式会社へお邪魔して、貨物列車の車庫見学や、実際に運用されている貨物列車の運転席に乗せてもらうという体験をさせていただきました！！当日は、貴重な体験が出来るということで、4 事業所が参加しています。あいにくの雨でしたが、電車が好きなお子さんは、とても嬉しそうに参加してくれました。見学中は、大勢の JR 貨物の職員さんにご協力いただき、なるべく雨に濡れないようにご配慮くださり、帰りにはプレゼントまでいただき、とても良い思い出となりました！！是非また、見学させていただきたいです♪</p> 
<p>『栄つばめっこ』 住所:983-0011 仙台市宮城野区栄 2丁目 2-19 TEL/FAX:022-786-3031</p>	<p>『福室つばめっこ』 住所:983-0011 仙台市宮城野区栄 4丁目 16-18-201 TEL/FAX:022-254-2011</p>
<p>今年の夏休み、栄つばめっこでは「コボスタ見学ツアー」に行ってきました。 スタッフのお姉さんが、相手選手用のロッカールームやブルペン、試合で使うベンチまで入ってきました。ベンチから見たグラウンドは、応援席やテレビで見る野球場とは違った雰囲気でした。 他にもキャッチャーの真後ろにある超高級な観戦席ややわらか〜いソファのある広々応援席も堪能。スタッフと子ども達で「いつか来たいね〜」なんて笑っていました。</p> 	<p>夏休みケアでは、皆で公共交通機関を利用し、定義山を参拝し、その後、参道の定義館で名物の三角あぶら揚げや門前定食、お蕎麦などを美味しくいただき、昼食後には、五重塔そばの池で鯉にエサやりもしました。 最後は皆で集合写真を撮り、とても思い出に残る 1 日となりました。 今後も、楽しい活動を行っていききたいと思います。</p> 
<p>※短期入所(ショートステイ)※</p>	
<p>『つばめっこハウス』住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野 123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>	
<p>つばめっこハウスにお泊まりしてみたいんだけど…という方は、一度つばめっこハウスまでご連絡ください。少しお話を聞かせていただき、契約や利用方法などお話をさせていただきます。また、ハウスの見学も受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。尚、つばめっこハウスは 1 年毎の契約になっております。昨年ハウスを利用した事があっても、今年度初めて利用する際には再度契約をさせていただきます。 今後とも、つばめっこハウスをよろしく願いいたします。</p>	
<p>※相談支援事業所※</p>	
<p>『つばめっこセンター』住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野 123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>	
<p>高校 3 年生で就労継続支援 B 型を目指している方は、そろそろ「就労アセスメント」の時期ですね。就労アセスメントの関連で悩むことがありましたら、お問い合わせください。また、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成や福祉サービスの利用などに関するお問い合わせは、随時、必要な対応をさせていただいておりますので、分からないことや知りたいことなどがありましたら、お気軽にお問い合わせください(ˆuˆ) 今後とも、つばめっこセンターをよろしく願いいたします。</p>	



ゆうこママの Happy News ♡ vol.5 テーマ「困っているのは、誰？」

こんにちは！さあ、5回目となりました。みなさんの心に何か届いていたら、うれしいです。息子が、小学生のころ、小児科の先生の講演で、こうおっしゃっていました。

「問題行動といわれる行動をする。困ったと見られながら、一番困っているのは、本人です。」 「全ての行動には、意味があります。」

そうなんです！まが困っている子心そのスタンスに立ち、その行動の原因や、その心を知る事が大切なんです。

高校から通っている大好きな乗馬に、働き始めてから、急に行きたくなくなり、送っていい真ん中で、私をたたきようになりました。到着すれば、楽しそう。

“ん？” “なんだ？” “これは、どういう心なんだ？” “意味があるはず！”

悩んで主人に相談したら、あっさり「ひりひりで行きたくないんじゃないの？」

“なるほど、ありえる！”そこで、乗馬クラブにひりひり馬車場から行かせようことを相談。OKをもらい、次に行く時は、息子は「今日からお母さんは、馬車場まで送るだけです。ひりひり乗馬に行かせてほしい。」と車に乗った時に、つげました。すると、すると……。なんと、セーターをたたきのがたり。ご機嫌は♡ “これが…！”

悩んでいるママたち、是非お話をよーく見て、いろいろためしてみても、私たちの深く大きな愛があれば、えーなことも減っていくよ！ひりひり、本人の困っていることをクリップにしてあげよう。ではでは、Happyな日々を♡

